



小さな積み重ね

ある日、子どもたちの外遊びが盛り上がっていたので、これはチャンス！とパソコンを出してきて、外に面した扉を全て開け放し、窓際で仕事をしていた私。

シャベルやバケツを出し、水を汲み、次第に往来の激しくなってくる子どもたち。「ねっちゅうしょうにならないようにみずのみにきた〜」、「ママ、みてみて〜」とカーテンをめくり、ひょっこり家の中に入ってくる手が次第に茶色に染まっていき、ついにカーテンに茶色の手垢が多数……。

「ちょっと待った〜！その手でカーテンを触らないで〜(;v;)」
と言う訳で、一度パソコンに別れを告げて外へ。

予想通り、泥だんご作っていました。家の前に作った泥だんごを並べ、「おだんごやさんをしているんだ」との事。「もっとかたくしたいの」と言うので、私も一緒に作り始めました。

実は泥だんご作り大好きな私。もっと固くしたいと言っていた子どもたちがそのうち水遊びに移行した後も、地道にサラサラ土やストッキングを駆使して泥だんごを磨き続けました。

子どもたちが隣で違う遊びをする中、大人一人で夢中になって泥だんごを磨く光景、後から考えると恥ずかしいですが、途中から「できた？」と見に来る子どもたちの表情が変わっていき、近所の子も含め、一度終わりにした泥だんご作りを再び始めていました。

そんな光景を見て何だかほっこりと嬉しい気持ちになりました。いつもなら我が子も含め、途中の工程が長いと「まだ〜?」「つかれた〜」「これやって〜」とあきらめ言葉のオンパレードなので(^ω^)

便利な時代を生きる子どもたちにとって、ある程度は致し方ない事なのかなと思いつつ、こうやって自分でやりたい、同じ物を作ってみたいと心が動かされて再始動したであろう姿がとても嬉しかったのです。

あきらめない気持ち、やり遂げる力には子ども自身のやる気が必須ですね。

こういう小さな積み重ねを大切にしてほしいなと思います。

毎日お疲れ様です！

渾身の泥団子が
こちら⇒

(子育て支援担当)

おまけ…

「なにこれ、難しい〜」とあきらめ言葉連発しながら、
子どもたち指導の下、私もプレイボード乗れるようになりました〜！笑

